

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>東京書籍（新編 新しい社会 歴史）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史学習の基礎的な知識及び技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」を設け、必要な技能を確実に定着できるようにしている。 ・ 「歴史的な見方・考え方」を働かせて、多面的・多角的に思考・判断・表現できるよう、学習場面や展開の工夫がなされている。 ・ 発展的な学習内容や社会とのつながりを重視し、主体的に社会に関わろうとする資質・能力を養えるよう配慮がなされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 見開き2ページで1つの内容構成になっており、導入からまとめまでの1時間の学習の流れが見えるようになっている。 (2) 問いの設定や単元の見通しなどを、人物のセリフで対話的に示し、興味・関心を高め、意欲的に追究できる工夫がなされている。 (3) 「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、グループ活動による対話的な活動を促しており、それぞれの考えを比較したり関連付けたりしながら思考を深められるよう配慮がなされている。 (4) 「地域の歴史を調べよう」では時代や地域の異なる事例を取り上げ、テーマの設定→調査→考察→まとめの流れを示しながら、情報を効果的に調べまとめる技能が身に付くよう配慮がなされている。 (5) 資料部分の背景に色を入れて本文との区別を明確にしたり、二次元コードの位置を統一したり、資料中の凡例を図中に示したりするなど、ユニバーサルデザインを意識した紙面となっている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 時代ごとに、「興味・関心をもたせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構造化しており、時代の大きな流れをとらえる学習が展開しやすくなっている。 (2) 各章の「探究のステップ」では、各時代の代表的な事象を取り上げ、事象の背景やその影響、前の時代との差異などを連続的に追究しながら学習を進められるよう配慮がなされている。 (3) 各章の終末に、多様な思考ツールを活用して学習内容を整理する「まとめの活動」があり、事象の関連や流れをまとめ、時代の特色をつかむ学習が展開できるように配慮がなされている。 (4) 教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識した学習が行えるよう工夫がなされている。 (5) 資料にサイズなどを示したり、図番号を本文にも付したりすることで、効果的な資料の活用を促せるよう配慮がなされている。 (6) 学習の過程に、「時期」や「推移」などの「歴史的な見方・考え方」を働かせるための「視点を示したマーク」を設け、視点を意識しながら学習を進められるように配慮がなされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料から始まり、問いの追究を中心とした構成となっており、生徒の主体的な学習につながるよう工夫がなされている。 ・ 関連資料や思考ツール、対話活動などの学習活動を例示し、「歴史的な見方・考え方」を働かせながら思考を深める工夫がなされている。

<div style="text-align: center;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">教育出版（中学社会 歴史 未来をひらく）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図表や資料について、考える視点や活用方法を具体的に示しながら知識及び技能の習得がなされるよう配慮がなされている。 ・ 学習のまとめとして、各評価項目に沿った活動がありバランスよくまとめができ、言語活動が充実するよう配慮がなされている。 ・ 社会的事象に興味・関心をもち、資料を読み解く活動から章や節が始まり、生徒が主体的に学べるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 見開き2ページで資料→学習課題→本文→追究という展開で、見通しをもって学習が進められるよう工夫がなされている。 (2) 各章のはじまりでは、「章の問い」や「学習の見通し」を設け、見開き2ページでは、学習内容を象徴するようなタイトルが用いられ、生徒の関心・意欲が高められるよう工夫がなされている。 (3) 各章のまとめでは、「学習のまとめと表現」のコーナーを設け、年表を中心に自分でまとめたり、社会的事象について資料をもとに説明したりすることができるよう工夫がなされている。 (4) 社会的事象への視点を変えて学習内容を捉え直す特設ページを設け、新たな気付きや後世への影響、関連などを多面的・多角的に考察できるよう配慮がなされている。 (5) ユニバーサルデザインを使用したり、本文と資料掲載部分の地色を色分けしたりするなど、視覚的に見やすいよう配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 小学校で学習した知識を基に時代の特色が分かる序章を設け、歴史の流れをつかみながら学習が進むよう配慮がなされている。 (2) 本時の学習の確認や表現活動が次時の学習課題と連動しており、学習が連続していくよう工夫がなされていたり、各章や各節を通した問いが設定され、学びの連続性が意識されたりしている。 (3) 「歴史の窓」コラムを設け、社会的事象の比較や推移などの「社会的な見方・考え方」を働かせながら、特色や関連、意味を多面的・多角的に思考できるよう配慮がなされている。 (4) 持続可能な社会を目指し、現代の視点から歴史を捉え直し、自分と歴史との関係について考えられる特設ページを設け、主権者意識と社会参画の意識が高められるよう配慮がなされている。 (5) どのページにも、時代スケールが示されており、どの時代を学習しているのかをいつでも確認できるよう工夫がなされている。 (6) 「確認」と「表現」の二項目を学習のまとめとして設け、1時間ごとに学習内容を振り返り、知識及び技能の定着が図れるよう配慮がなされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 章や節ごとに学習の見通しがもてる場面や時代の特色をまとめるページを設け、理解を深めていけるよう工夫がなされている。 ・ 社会3分野の関連やSDGs、身近な地域の歴史の観点を取り入れ、学習が深まるよう配慮がなされている。

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>帝国書院（社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入から、学習課題、本文、「確認しよう」、「説明しよう」と課題を追究しながら知識・技能が習得できるよう配慮がなされている。 ・ 主体的・対話的で深い学びを実践するための特設ページを設け、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう配慮がなされている。 ・ 各章冒頭に「小学校で学んだ出来事」の年表があり、小学校での学習と関連させながら、主体的に学べるよう配慮がなされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 中学生の発達段階を考慮して、解説や写真および図版の説明を設け、基礎的な知識の習得が図られるよう工夫がなされている。 (2) 時代の様子が描かれた「タイムトラベル」「世界とのつながりを考えようイラスト編」で、興味・関心を高めながら、気付きや発見を生かして追究できるように工夫がなされている。 (3) 基本的に統一されたレイアウトで配置された見開き2ページで学習課題を設定し、資料提示から本文と追究資料を手がかりに、自ら課題に取り組み、思考が深められるように工夫がなされている。 (4) 「歴史を探ろう」で、学習内容を具体的に考える場面を設定し、「見方・考え方」を働かせて思考を深められるように配慮がなされている。 (5) 本文には、ユニバーサルデザインフォントを採用したり、グラフ・地図などの資料には、カラーユニバーサルデザインを採用したりして、読みやすさや見やすさに配慮がなされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各見開きが、本文、資料、側注などが統一され、「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」という展開で構造化され、学習が展開しやすくなるよう工夫がなされている。 (2) 単元を貫く「章の問い」「節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」、章末の「学習を振り返ろう」と問いが構造化され、連続的に学習が展開できるよう構成されている。 (3) 「世界とのつながりを考えよう」で、「見方・考え方」が設けられ、「歴史的な見方・考え方」を働かせ、世界の歴史の特色や日本との関連を多面的・多角的に考え学習ができるよう工夫がなされている。 (4) 「未来にむけて」のコラムで、環境・防災・人権・平和・情報・伝統など今日的な課題を示す資料を取り上げ、持続可能な社会について考える学習ができるよう配慮がなされている。 (5) 動画などの資料が利用できるコンテンツを配置し、生徒の学びを深めることができるよう工夫がなされている。 (6) 本時の目標「学習課題」に照らした「確認しよう」「説明しよう」という振り返りの活動を設け、学んだことを自分の言葉でまとめる学習が進められるように工夫がなされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人々の営みが大観できるイラスト資料・イラスト地図を用意して、時代の特色を視覚的に捉えられるように工夫がなされている。 ・ 「琉球とアイヌ民族」の歴史を古代から現代まで取り上げ、多面的・多角的に日本の歴史を捉えようと工夫がなされている。

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">山川出版社（中学歴史 日本と世界 改訂版）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習課題→本文→ステップアップによる振り返りという流れで構成され、知識・技能を確実に身に付けられる配慮がなされている。 ・ 様々な立場、価値観を考慮した記述、資料が記載されており、多面的・多角的な思考・判断・表現を促す配慮がなされている。 ・ 世界の歴史に関する内容が充実しており、国際社会に主体的に生きる国際協調の精神を養えるよう配慮がなされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘索性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 見開き2ページで一つの内容構成になっている。詳細な説明や資料が多くあり、生徒の学びたい意欲に応えられる内容となっている。 (2) 時期や理由、経緯や差異などに着目できる多様な発問が記載されており、生徒の関心・意欲を喚起する工夫がなされている。 (3) 「ステップアップ」では、学習内容を踏まえての問いや課題が設けられ、学習したことをさらに深めることで生徒が主体的に学習に取り組むことができる工夫がなされている。 (4) 「身近な地域を調べよう」では、調査・まとめ・発表のやり方について説明があり、生徒が比較や分類、理由付けや関連付けなどの見方・考え方を働かせて学習できる配慮がなされている。 (5) 資料の配置や背景の色などが章ごとに統一されている。資料中の凡例も色分けや線種の差がつけられ、ユニバーサルデザインを意識した配慮がなされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 本文は因果関係を意識して記述し、歴史の事象とその背景となった時代の特徴、意味や意義を分かりやすく解説している。 (2) 見開き2ページに2～5個の多様な発問が設定され、「歴史的な見方・考え方」を働かせながら学習を進められるように工夫がなされている。 (3) 「歴史へのアプローチ」では、時代を通じた視点やグローバルな視点で10のテーマが取り上げられ、それぞれの社会的事象の関連や意味を多角的・多面的に考察する力を高める配慮がなされている。 (4) SDGs 17の目標のうち10の目標について、本文中やコラムなどで扱い、現代的な諸課題をテーマに学習を進められるよう工夫がなされている。 (5) 世界の大きな流れと我が国の歴史との関わりを考察できるように、多くの資料を掲載して多面的・多角的な資料の活用を促せるように工夫がなされている。 (6) 各章の終末には表を使って学習内容を整理してまとめるページが設けられており、社会的事象の時期や推移、類似や分類などを意識した学習を進められるように配慮がなされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の歴史を充実させることで、我が国の歴史を世界的な視野から理解することができる。 ・ 各章の導入で日本と世界の出来事を帯年表や地図・イラストで表し視覚的に学びやすいよう配慮がなされている。

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>日本文教出版（中学社会 歴史的分野）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 因果関係を資料と本文を関連付けて記述し、知識のみならず事実から読み解く技能を身に付け表現するよう配慮がなされている。 ・ まとめを自分の言葉で説明するページや活動を入れ、生徒の思考力、判断力、表現力等を育めるよう配慮がなされている。 ・ 文章量が増えすぎないように資料や解説を適宜入れ、歴史全体を俯瞰し、生徒が自ら学べるよう配慮がなされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習内容を焦点化し、見開き2ページを1時間で学べるように平易な言葉を使い理解が深まるように工夫がなされている。 (2) 導入のページで小学校の既習事項を年表や世界地図で想起し、興味・関心を喚起して学びが深まるよう工夫がなされている。 (3) 導入とまとめのページや「チャレンジ歴史」のページに協働的な学びの場を設定することで対話的に学べるよう工夫がなされている。 (4) 「チャレンジ歴史」を設けて既習内容を生かし、新聞記事や写真、解説に触れながら「社会的な見方・考え方」を働かせ、まとめを自らの言葉で表現できるよう配慮がなされている。 (5) 単元カラーを設定し、本文ページの右端に時代・世紀のスケールを設け、現在学習している時代や世紀を常に確認できるよう工夫がなされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「学習のはじめに」で、活動を通して単元を貫く問いを立てたり学習を見通したりすることで、時代を大観する学習ができるよう工夫がなされている。 (2) 前ページの「確認」でまとめられた点が次のページの内容と連続しており、推移や因果関係がとらえられるよう工夫がなされている。 (3) 各章の終末には「まとめとふり返し」が設けられ、思考ツールやいくつかのステップに分けた活動を提示することで、時代の特色をつかむ学習が展開できるよう工夫がなされている。 (4) 「先人に学ぶ」「各時代の女性」などのコーナーを設けて、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を育成できるよう配慮がなされている。 (5) 導入とまとめのページにそれぞれ年表と地図を配置し、生徒がこの時代で学ぶことを時間軸と空間軸の両方で確認することができるよう工夫がなされている。 (6) 毎時間「確認」を示し各時代の終わりには「まとめとふり返し」を設け、まとめを行う際の評価の観点が明確になるよう工夫がなされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界と日本の結び付きを意識して様々な出来事や資料を載せ、世界と関わり存在する日本を学べるよう配慮がなされている。 ・ 見開き2ページの一つ「見方・考え方」を設け、学習課題解決の手がかりとなる主な「歴史的な見方・考え方」の例を示している。

<div style="text-align: center;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">自由社（新しい歴史教科書）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各章末に「まとめ図」を設け、基本的な知識の定着を図ることができるよう配慮がなされている。 ・ 各章末に「調べ学習のページ」を設け、生徒の思考力、判断力、表現力等が育成できるよう配慮がなされている。 ・ 文章量が増えすぎないように資料や解説等を適宜入れ、歴史全体を俯瞰し、生徒が主体的に学べるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	<ol style="list-style-type: none"> (1) 見開き2ページを1時間の授業として配列し、写真や解説および図版の説明を設け、理解しやすいように工夫がなされている。 (2) 各時代の資料に、時代の中心人物だけでなく、様々な分野・階層の人々について取り上げ、興味・関心を高めながら、追究できるように工夫がなされている。 (3) 課題意識をもてる導入資料と問いかけ、それに対する解説と資料を掲載し、意欲的な追究ができるよう工夫がなされている。 (4) 各章末に「時代の特徴を考えるページ」を設け、時代の特徴をつかむために「用語」「比較」「人物」などの問題を解きながら思考を深められるように工夫がなされている。 (5) 地図やグラフには判別しやすい色を使用したり、写真は大きなサイズにして掲載したりして、情報が読みとりやすいように配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> (1) キャラクターによるコメントにより資料の着眼点を示し、「社会的な見方・考え方」を働かせて追究できるよう配慮がなされている。 (2) 各章の最後に「まとめ図」があり、つながるように次の章の予告に「小学校で学習した人物の紹介」があり、連続的に学習が展開しやすいように配慮がなされている。 (3) 「外の目から見た日本」で、様々な立場から日本について紹介し、「比較」や「関連付け」などの「歴史的な見方・考え方」を働かせて多面的・多角的に学習が進められるように工夫がなされている。 (4) 「人物クローズアップ」や「もっと知りたい」などのコラムを設け、様々な人物や社会的事象について学習が行えるよう配慮がなされている。 (5) どのページにも、年表スケールが示されており、どの時代を学習しているのかをいつでも確認しながら学習が展開できるように工夫がなされている。 (6) 各章末に「復習問題のページ」「時代の特徴を考えるページ」「対話とまとめ図のページ」を設け、学んだことを対話したり、自分の言葉でまとめられたりする学習が行えるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真や課題および図版の説明を設け、キャラクターのコメントなどを入れ、主体的な学習になるように工夫がなされている。 ・ 各章末に「調べ学習のページ」など四つのページを設け、自主的に学習が行えるように工夫がなされている。

<div style="text-align: center;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">育鵬社（新しい日本の歴史）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各時代を大観し、前の時代と比較しながら我が国の歴史の大きな流れを世界の歴史を背景に理解できるよう配慮がなされている。 ・ 学習のまとめとして、自分の言葉で表現する活動を取り入れ、思考力、判断力、表現力等が育成できるよう配慮がなされている。 ・ 「歴史ビュー」では学んだことを深めたり、別の視点からの見方を示したりして、主体的に追究できるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 学習課題を明確にして1時間の授業を構成し、学習内容について理解を深めることができるよう工夫がなされている。 (2) 課題意識をもつことができる導入資料と学習課題、それに対する解説と資料を掲載し、主体的に学習を進められるよう工夫がなされている。 (3) 「TRY!」のコーナーでは、グループ活動による対話的な活動を促しており、既習内容から関連付けたり理由付けたりしながら思考を深められるように工夫がなされている。 (4) 「学習のまとめ」を設け、「歴史的な見方・考え方」を働かせ、社会的事象の意味や因果関係を説明する学習ができるよう配慮がなされている。 (5) 資料を部分的に拡大したり、具体的な注釈をつけたりして文面の内容を補うことで、読み取りやすい構成になるよう配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各章の冒頭には「歴史絵巻」と「○○の世界へようこそ!」を設け時代の大きな流れをとらえたり各見開きに節の課題を示したりすることで、時代を大観する学習が展開しやすくなっている。 (2) 序章の「歴史の流れと先人の活躍」では小学校で学んだ歴史人物についての調べ学習を設け、中学校の学習へのスムーズな接続ができるよう配慮がなされている。 (3) 「歴史ズームイン」「歴史ビュー」では、本文で学習する内容に関連する人物や出来事をコラムで取り上げ、多角的な視点で歴史的な出来事をとらえる学習が展開しやすくなっている。 (4) 「歴史ズームイン」のページを設け、「伝統・文化」「防災」「環境」「女性」「平和」など現代の諸課題を意識した学習が行えるよう工夫がなされている。 (5) 図版、イラスト、写真などの資料が本文の記述と関連付けて適所に掲げられ、学習展開に有効に活用できるよう配慮がなされている。 (6) 各見開きページの「確認」「探究」のコーナーや、各章末「学習のまとめ」、巻末「歴史学習のまとめ」には生徒が自分の考えを表現できるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「日本の美の形」「歴史絵巻」のページは、生徒が視覚的に興味をもって取り組めるよう工夫がなされている。 ・ 豊かな日本の伝統と文化を数多く紹介し、生徒が興味をもって我が国の歴史を学び続けるよう配慮がなされている。

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p>学び舎（ともに学ぶ 人間の歴史 中学社会 歴史的分野）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各章に振り返りのページを設け、年表や地図を活用してできごとを関連させながら基本的な知識の定着ができるようにしている。 ・ 各部に「学習のまとめ」を設け、比較や関連付けをし、話し合うことを通して、多面的・多角的に思考できるよう配慮がなされている。 ・ 「章の扉」を設け、その時代の世界各地の資料を読むことで、生徒が興味・関心をもち、主体的に学べるよう配慮がなされている。
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 見開き2ページを1時間の授業として配列し、見直しをもって学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。 (2) 指導的な立場の人物だけでなく、様々な分野・階層の人々について取り上げ、興味・関心を高めながら、学習できるよう工夫がなされている。 (3) 見開き2ページの左上に大きな図版と学習課題を示し、課題意識をもって、学習に取り組めるよう工夫がなされている。また、太字をなくし、主体的に学習できるよう配慮がなされている。 (4) 絵画資料・写真・文書・新聞・統計資料など多様な資料や「歴史を体験する」ページがあり、社会的事象を多面的・多角的に考察できるよう配慮がなされている。 (5) ユニバーサルデザインを使用し、A4判にすることで、地図やグラフなどの資料を大きくするなど読み取りやすくするための工夫がなされている。
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 各章の冒頭にある「章の扉」では、世界各地の写真や絵を配置し、時代を大観したり、世界とのつながりを意識したりして、通史の学習に取り組むことができるよう配慮がなされている。 (2) 各章の冒頭に「章の扉」、終末に「章をふりかえる」を設定し、生徒が課題意識をもって追究できるよう工夫がなされている。 (3) 各部の「学習のまとめ」では、学習したことを深める課題を設定し、「歴史的な見方・考え方」を働かせ、社会的事象を関連させて考えることを促すよう工夫がなされている。 (4) 女性の人権や感染症、内戦など現代的な諸課題をテーマに取り上げ、歴史を現代の諸課題と結び付けて学習し、よりよい社会の実現に向けて考えられるよう配慮がなされている。 (5) 年表のページに写真や表などの資料を掲載し、各時代の特色や日本と世界の動きを比較・関連させながら整理できるよう工夫がなされている。 (6) 各部の最後に「学習のまとめ」を設定し、時代の特色と時代の転換を振り返りながら大観し、各時代の特色を多面的・多角的に考察して自分の言葉で表現できるよう工夫がなされている。
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史の中に生きる様々な階層の人々の姿を掲載し、その営みを通して、多角的に社会的事象を理解できるよう工夫がなされている。 ・ 第二次世界大戦前後の学習に30テーマを設け、生徒自らが歴史的な事象を現代社会と結びつけて考察できるよう工夫がなされている。

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	<div style="text-align: center;">令和書籍（国史教科書 第7版）</div>
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の歴史に関わる知識や文献資料が豊富に記載されている。日本の歴史について深く学ぶことが可能な内容となっている。 ・ 「考えよう」等の問いかけで「歴史的な見方・考え方」を働かせ、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫がなされている。 ・ 我が国の歴史に対する愛情を喚起する内容があり、歴史上の人物を尊重しようとする配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 日本の歴史について詳細に記載されている。神話に基づく内容が多く、日本の歴史に対する愛情に関わる知識を身に付けることができる工夫がなされている。 (2) 注釈やコラムが多くあり、歴史的事象に関わる挿話を知ることができる。深く学びたい生徒の関心を喚起する配慮がなされている。 (3) 「歴史について議論する」では、議論の進め方や注意などが説明されており、生徒の対話的な学習を促す工夫がなされている。 (4) 「展覧会に行こう」では、調査・見学の際の注意やまとめ方の例示がされており、生徒が主体的・対話的に学習を進められるように配慮がなされている。 (5) 「巻末資料」において、多くの地図資料や美術品の写真がカラーで記載されており、さらに深く学ぶことができる配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> 「知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価 </div>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 基本的な内容に加えて、発展的な内容も記載されており、深く学びたい生徒の学習意欲に応えられる内容になっている。 (2) 歴史上の出来事の推移や差異、因果関係を詳細に解説しており、歴史的事象の連続的なつながりを意識できるよう工夫がなされている。 (3) 時代を大観する際の視点として、「政治」「外交」「文化」「産業」の四つの視点が各章で示されている。その視点からの問いが記載されており、生徒の課題意識を明確にする工夫がなされている。 (4) コラムにおいて、社会に見られる課題につながる歴史的事象に対して、筆者の考えが示されており、複数の立場や意見を踏まえて選択・判断する力を養う配慮がなされている。 (5) 適所に厳選された資料が記載されており、生徒が「歴史的な見方・考え方」を働かせ、歴史的事象に対する理解を深めたり、関連付けたり、具現化できたりする配慮がなされている。 (6) 各時代の「まとめ」のページでは、「政治」「外交」「文化」「産業」の四つの視点に対しての問題や課題が設定されており、振り返りの際の視点が明確になっている。
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の歴史の大きな流れを詳細に解説し、深い理解を通して寛容される我が国の歴史に対する愛情を養う内容となっている。 ・ 歴史に関わる事象の意味や意義を、複数の意見や立場を踏まえて説明したり、議論したりする力を養う内容となっている。